

2020 年度 定例総会議事録

新型コロナウイルスによる対応のため、2020年5月14日(木)に東京理科大学葛飾キャンパスで開催予定の年会を中止し、定例総会をメール総会として開催する事とした。岩崎会長がメール総会議長として5月14日に開催宣言を行ない、庶務(文書)理事が総会資料の配信と、会員からの審議結果の受信を担当した。18日(月)17時に岩崎会長からメール総会終了宣言のメール配信がなされた。会員からの総返信数は81件であり、3月31日の正会員数414名の10分の1以上となり、会則第15条により総会は成立し、下記の議題は全て承認された。

I. 応用統計学会 2019 年度 事業報告 (2019.04.01~2020.03.31)

1. 概況

2019年度は2018年度と同様に、岩崎学 会長・中西寛子 副会長をはじめとする15名の理事、および鎌倉稔成、栗木哲の両監事の体制で活動した。

財務状況は小さな黒字であった。

2019年度中の会員の入会、退会状況は、入会者数20名1件(内訳:正会員16名,学生会員4名,機関購読(団体)1件),退会者数15名(内訳:正会員14(物故者1名含),学生会員1名)であった。

この結果、会員数は2019年度末現在で432名である。内訳は正会員414名,学生会員11名,名誉会員7名である。また、賛助会員6社,機関・団体購読は33件である。

正会員,学生会員と名誉会員を足した会員数の推移は次のとおりであり、会員増への方策の検討が必要である。

	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末
会員数	526名	501名	521名	499名	451名	426名	432名

2. 総会の開催

2019年5月18日に総会を神戸大学医学部会館 シスメックスホール(神戸市)で開催した。

3. 評議員会

2019年5月18日に定例評議員会を神戸大学医学部研究棟 大会議室で開催し、総会に付議する事項等について審議した。

4. 理事会

対面理事会を4回(2019年5月,7月,9月,12月),メール審議による理事会を4回,計8回理事会を開催し、学会の運営に関する事項,会員の入退会に関する事項,学会などの後援や協賛に関する事項について審議した。

5. 機関誌編集

「応用統計学」Vol.48のNo.1&2, No.3の2冊を発行した。掲載原稿は5編(研究論文3,研究ノート1,総合報告1)である。総ページ数の推移は次のとおりである。

巻	41	42	43	44	45	46	47	48	平均
総ページ数	152	195	57	187	122	176	128	103	140.0
論文数*	11	7	10	3	11	8	5	5	7.5

*掲載された記事の数（総合報告，研究論文，覚え書き，統計計算，フォーラム，研究ノート）

6. 応用統計学会論文賞の選考

「応用統計学」に掲載された論文から選考し，以下のように学会論文賞を授与した．表彰式および受賞記念講演を9月の連合大会で開催された企画セッション内で実施した．

優秀論文賞：野間 久史

連鎖方程式による多重代入法と医学研究における応用, 46(2), 67--86.

奨励論文賞：*檜山 文音, 南 美穂子

Max-Stable Process による年最大日降水量データ解析, 47(2&3), 51--70.

(*が受賞対象)

7. 年会

2019年度年会を2019年5月18日に神戸大学医学部（神戸市）で開催した．

5月17日に本学会主催によるチュートリアルセミナーを，荒木由布子（静岡大学）オーガナイザーによる「関数データ解析」のテーマで3つの講演，

1：荒木由布子（静岡大学）「関数データ解析の基礎」，

2：Jeng-Min Chiou（Academia Sinica）「関数データクラスタリング，関数回帰モデル」，

3：松井 秀俊（滋賀大学）「関数判別モデルと変数選択」

を開催した．参加者は177名（計量生物・応用統計学会会員111名，学生30名，非会員36名）であった．

年会では，一般講演6件，特別講演2件，ポスター発表9件であった．優秀ポスター発表として以下の3名を選出した（*が受賞対象）．

・*吉川剛平（電気通信大学）・川野秀一（電気通信大学）

多様体最適化による多変量低ランク回帰モデルのスパース推定

・*高橋佳苗（大阪市立大学）・山本紘司（横浜市立大学）

陽性的中率・陰性的中率の比較における正確検定

・*田辺佑太（静岡大学）・荒木由布子（静岡大学）

基底関数展開を用いた非線形分位点混合効果モデルの提案

2019年度年会の参加者は66名（正会員46名，学生（学生会員を含む）14名，非会員6名）であった．参加者数の推移は次のとおりである．

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年	2019年
参加者数	122名	105名	106名	64名	71名	55名	43名	66名

8. フロンティアセミナーの開催

応用統計学フロンティアセミナー「データサイエンスと応用統計学」を，2019年10月19日(土)に代ゼミタワー校舎(13A教室)で行った．参加者数は116名（会員25名，非会員91名）であった．講演は以下のとおりである．

岩崎 学 氏（横浜市立大学）

「データサイエンスにおける応用統計人材の育成」

森 正弥 氏 (楽天)

「楽天技術研究所におけるデータサイエンス及び統計の様々な応用事例」

上田 哲郎 氏 (日産自動車)

「自動車とデータサイエンス」

中川 みゆき 氏 (帝国データバンク)

「企業ビッグデータから捉える企業活動と未来の活用可能性」

松嶋 敏泰 氏 (早稲田大学)

「早稲田大学におけるデータサイエンス人材育成への取り組み」

西岡 康夫 氏 (代々木ゼミナール)

「学校における『統計』教育の課題—我々は木に縁りて魚を求めてはいないか—」

9. 統計関連学会連合大会

統計関連学会連合大会を2019年9月8日～12日に滋賀大学で開催した(主催: 応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会)。会場で応用統計学会の広報のブースを設営した。

参加者数は延べ 1,114名(チュートリアル参加者数 143名, 市民講演会参加者数 174名, 本大会参加者数 797名)であった。本学会の企画セッションとして, 応用統計学会学会賞受賞式, 受賞者講演(オーガナイザー: 青木敏(神戸大), 姫野哲人(滋賀大学))と, 応用統計学会企画セッション「関数データ解析」(オーガナイザー: 二宮嘉行(統計数理研究所))を行った。

大会参加者総数とチュートリアルセミナー参加者の推移は次のとおりである。

年	度	2014	2015	2016	2017	2018	2019
大	会	1034名	776名	835名	836名	1,275名	1,114名
チュートリアルセミナー		253名	232名	252名	170名	143名	143名

※ 2018年の数字は統計関連学会連合大会のウェブページでの報告

10. 関連学会等との後援・協賛事業

合計6件(後援2件, 協賛3件, 共催1件)

今年度に後援・協賛した行事は次のとおり。

- ・統計数理研究所樋口前所長退任記念シンポジウム(協賛)
- ・第22回情報論的学習理論ワークショップ(IBIS2019)(協賛)
- ・第15回日本TRIZシンポジウム2019(協賛)
- ・横浜市立大学データサイエンス学部 第2回WiDS Tokyo @ Yokohama City University(後援)
- ・データサイエンティスト協会 6thシンポジウム(後援)
- ・日本品質管理学会・日本統計学会「第9回科学技術教育フォーラム」(共催)

11. 関連学会等への協力と協調

以下の各連合組織に当学会より担当する理事又は特別任務を担当する学会員を指名し, 各委員会に出席するなど協調を行った。

(1) 統計関連学会連合

理事会(理事長: 岩崎 学 会長, 理事: 中西寛子 副会長),

事業委員会(中西寛子 副会長, 青木敏 理事, 樋口博樹 理事, 藤井 良宣 会員)

(2) 統計関連学会連合大会

2019年度大会

組織委員会（岩崎 学 会長，中西寛子 副会長，藤井 良宣 会員）

プログラム委員会（二宮嘉行理事，元山 斉理事），運営委員会（山口誠一会員）

(3) 横断型基幹科学技術研究団体連合

2019年度 代議員（中西寛子 理事）

(4) 統計教育連携ネットワーク

連携学会として参加

(5) リスク研究ネットワーク

機関メンバーとして参加

(6) 統計検定（一般財団法人 統計質保証推進協会）

協賛学会として協力

12. ホームページおよびメーリングリストの充実

ホームページを逐次更新し，学会員への情報公開を円滑にした。また，メーリングリストによる情報公開を行った。

13. 名誉会員

2019年度の名誉会員については，公募の結果，田栗正章氏が名誉会員となった。2020年度の名誉会員についても，2019年度中に公募を行った。

14. 選挙

2020年度の会長，副会長，評議員の選挙を実施した。

15. 会費滞納者への対応

今年度の長期会費滞納者は1名のみであったため，今後も再度連絡を試みる事とし，除籍処分については行わなかった。

その他の事業については応用統計学会のホームページをご覧ください。

Ⅱ. 2019年度会計報告

1. 収入の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 会費収入	2,177,500	2,012,500	165,000
(1) 正会員	2,020,000	1,865,000	155,000
(2) 名誉会員	15,000	10,000	5,000
(3) 学生会員	22,500	17,500	5,000
(4) 賛助会員	120,000	120,000	0
2. 雑誌売上収入	218,000	234,000	▲ 16,000
3. 広告料	30,000	60,000	▲ 30,000
4. 掲載料	60,000	320,000	▲ 260,000
5. 年会等関係収入	276,461	311,000	▲ 34,539
(1) 年会収入	184,000	166,000	18,000
(2) チュートリアル収入	92,461	145,000	▲ 52,539
(3) ワークショップ収入	0	0	0
6. 雑収入(著作権料・利息等)	62,289	96,000	▲ 33,711
当期収入合計	2,824,250	3,033,500	▲ 209,250
前期繰越金	6,697,707	6,697,707	0
収入合計	9,521,957	9,731,207	▲ 209,250

2. 支出の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 機関誌関係費	563,523	1,250,000	△ 686,477
(1)印刷費	289,300	800,000	△ 510,700
(2)校正費	100,000	150,000	△ 50,000
(3)通信・発送費	174,223	300,000	△ 125,777
2. 年会等関係費	544,231	621,000	△ 76,769
(1)年会支出	473,829	308,000	165,829
(2)チュートリアル支出	0	13,000	△ 13,000
(3)ワークショップ支出	70,402	100,000	△ 29,598
(4)共催国際会議支出	0	0	0
(5)広報費	0	200,000	△ 200,000
3. 管理費	1,223,063	1,120,000	103,063
(1)事務委託費	750,000	750,000	0
(2)消耗品費	97,654	50,000	47,654
(3)会議費	77,831	130,000	△ 52,169
(4)雑費	141,508	90,000	51,508
(5)事務合理化費	7,560	10,000	△ 2,440
(6)選挙費	148,510	90,000	58,510
4. 役員旅費補助	114,680	150,000	△ 35,320
5. 関連学会協調事業費	70,000	120,000	△ 50,000
(1)統計関連学会連合年会費	20,000	20,000	0
(2)横幹連合年会費	50,000	50,000	0
(3)連合大会企画セッション支出	0	50,000	△ 50,000
6. 学会賞	48,834	50,000	△ 1,166
当期支出合計	2,564,331	3,311,000	△ 746,669
収支差額(次年度繰越金)	6,957,626	6,420,207	537,419
支出合計	9,521,957	9,731,207	△ 209,250

2020年度への繰越金の内訳

項目	2019年3月31日現在	2020年3月31日現在
銀行預金	385,905	382,620
郵便貯金	839,972	1,344,386
定額貯金	500,000	0
郵便振替	4,934,088	5,220,514
現金	37,742	10,106
合計	6,697,707	6,957,626

会計監査報告書

応用統計学会殿

応用統計学会会則に基づき、2019年4月1日より2020年3月31日までの会計経理を監査した結果、会計報告のとおり相違ないことを認めます。

2020年 4月 8日

監事

鎌倉 稔 成 

栗 下 玲 

Ⅲ. 応用統計学会 2020 年度 事業計画(2020.04.01～2021.03.31)

1. 機関紙の発行

「応用統計学」Vol. 49 を発行する。

2. 応用統計学会論文賞等の授与

「応用統計学」に掲載された論文の中から優秀な論文に学会賞（優秀論文，奨励論文）を授与する。優秀論文賞と奨励論文賞の各受賞者は統計関連学会連合大会における企画セッションで講演を行う。ただし，年会は中止なので，優秀ポスター発表賞の選定は行わない。

3. 年会の開催

2020 年の 5 月 14 日に東京理科大学の葛飾キャンパスで開催予定であった年会と 15 日に開催予定であったチュートリアルを，新型コロナウイルスの感染回避，開催校への配慮の観点から，中止とした。なお，来年の開催場所は計量生物学会が担当する予定である。

4. 応用統計学フロンティアセミナーの開催

2020 年度もフロンティアセミナーの開催の予定である。セミナーのテーマや時期および開催場所については今後検討する。

5. 統計関連学会連合大会での企画セッション

2020 年度統計関連学会連合大会（応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会が主催）が 2020 年 9 月 8 日～12 日に富山国際会議場，富山県民会館で開催される。企画セッションとして当学会は，

- ・「“Information Criteria in Data Science” supported by JSAS and JSPS KAKENHI for JJSD」（オーガナイザー：松田安昌（東北大））

- ・応用統計学会学会賞授賞式，受賞者講演

（オーガナイザー：青木敏（神戸大学大学院理学研究科），

姫野哲人（滋賀大学データサイエンス研究科），

を企画運営する。

6. 研究集会

必要に応じてその他の研究集会を開催・支援する。

7. 学会員への情報公開

ウェブページやメーリングリストを活用して，学会員への情報公開を有効かつ円滑に行う。賛助会員の一覧をウェブページに作成する。

8. 広報活動

会員の募集のための広報活動を，連合大会（ブースの設置）や適切な媒体を使って行う。

9. 関係学会等との協調

以下の団体への加盟を継続し協力すると共に，その他関係学会との協調を促進する。

(1) 統計関連学会連合

- (2) 日本計量生物学会
- (3) 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）
- (4) 統計教育連携ネットワーク
- (5) リスク研究ネットワーク
- (6) 統計検定（一般財団法人 統計質保証推進協会）
- (7) データサイエンティスト協会

10. 名誉会員

名誉会員の公募と選考を行う。

11. 理事会，評議員会，総会の開催

今年度は新型コロナウイルスにより年会を中止したため，評議員会および総会はメールでの開催とし，メール総会時に名誉会員に対する審議を行う。

また，5月のメール総会后，9月の連合大会開催時，および適宜，理事会を開催する予定である。またメール等による理事会は必要に応じて開催する。

以上

IV. 2020年度予算

1. 収入の部

勘定科目	2019年度予算	2019年度実績	2020年度予算
1. 会費収入	2,012,500	2,177,500	2,087,500
(1) 正会員	1,865,000	2,020,000	1,925,000
(2) 名誉会員	10,000	15,000	17,500
(3) 学生会員	17,500	22,500	25,000
(4) 賛助会員	120,000	120,000	120,000
2. 雑誌売上収入	234,000	218,000	204,000
3. 広告料	60,000	30,000	90,000
4. 掲載料	320,000	60,000	170,000
5. 年会等関係収入	311,000	276,461	0
(1) 年会収入	166,000	184,000	0
(2) チュートリアル収入	145,000	92,461	0
(3) ワークショップ収入	0	0	0
6. 雑収入(著作権料・利息等)	96,000	62,289	78,000
当期収入合計	3,033,500	2,824,250	2,629,500
前期繰越金	6,697,707	6,697,707	6,957,626
収入合計	9,731,207	9,521,957	9,587,126

2. 支出の部

勘定科目	2019年度予算	2019年度実績	2020年度予算
1. 機関誌関係費	1,250,000	563,523	1,390,000
(1)印刷費	800,000	289,300	1,070,000
(2)校正費	150,000	100,000	50,000
(3)通信・発送費	300,000	174,223	270,000
2. 年会等関係費	621,000	544,231	150,000
(1)年会支出	308,000	473,829	0
(2)チュートリアル支出	13,000	0	0
(3)ワークショップ支出	100,000	70,402	50,000
(4)共催国際会議支出	0	0	0
(5)広報費	200,000	0	100,000
3. 管理費	1,120,000	1,223,063	1,050,000
(1)事務委託費	750,000	750,000	750,000
(2)消耗品費	50,000	97,654	100,000
(3)会議費	130,000	77,831	80,000
(4)雑費	90,000	141,508	90,000
(5)事務合理化費	10,000	7,560	10,000
(6)選挙費	90,000	148,510	20,000
4. 役員旅費補助	150,000	114,680	100,000
5. 関連学会協調事業費	120,000	70,000	120,000
(1)統計関連学会連合年会費	20,000	20,000	20,000
(2)横幹連合年会費	50,000	50,000	50,000
(3)連合大会企画セッション支出	50,000	0	50,000
6. 学会賞	50,000	48,834	50,000
7. 謝金	0	0	150,000
小計	3,311,000	2,564,331	3,010,000
7. 予備費	6,420,207	6,957,626	6,577,126
当期支出合計	9,731,207	9,521,957	9,587,126

V. 学会賞の選考

第1次選考, 第2次選考の結果, 以下の論文が選出された.

優秀論文賞:

Vol. 48, No. 3, 45-57. (2019)

「スパース正準判別分析に基づく万葉短歌の作者の分類とその特徴づけ」

川野秀一, 村田右富実

奨励論文賞:

Vol. 48, No. 1 & 2, 1-16. (2019)

「アウトカム情報を利用した細菌データに対するノンパラメトリックベイズトピックモデル」

奥井 佑

VI. 名誉会員の推挙

小西 貞則 氏

推薦理由：

小西貞則氏は、2000－2001 年度に応用統計学会の会長を務められ、応用統計学会の発展に尽力された。小西氏は これまでに 統計数理研究所、九州大学、中央大学に勤務され、優れた研究を積み上げられるとともに、大学の要職も歴任されてきた。

小西氏は、統計量の分布に対する精密な近似を得るための正規化変換や、予測の観点から統計モデルを評価するための情報量規準に関する研究により国際的にも高く評価され、2006 年にアメリカ統計学会よりフェローを授与された。また、2009 年には文部科学大臣表彰科学技術賞を授与されている。研究面だけでなく、教育面では多くの学生を指導されたほか、「情報量規準」(朝倉書店)や「多変量解析入門」(岩波書店)など多くの専門書も執筆され、統計学の発展・普及に大きく貢献されてきた。

これらの業績は特筆すべきものであり、応用統計学会名誉会員に就任いただく十分な理由があると判断できるため、ここに推薦する次第である。

三輪 哲久 氏

推薦理由：

三輪哲久氏は、1996 年度から 1999 年度まで応用統計学会企画理事、2000 年度から 2003 年度まで応用統計学会副会長を務められ、応用統計学会の発展に尽力されました。

三輪氏は、1983 年に農業環境技術研究所に入所以降、長年にわたり一貫して農業研究分野で用いられるデータ解析のための応用統計手法を研究されてきました。現在、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構フェローを務められています。

三輪氏の多重比較法についての理論研究ならびに農業分野での応用研究の業績は著名であり、英国王立統計学会誌、米国統計学会誌にも論文が掲載されています。これらの研究業績により、2008 年には日本計量生物学会賞も受賞されています。三輪氏は、実験計画法と分散分析についての多くの専門書も執筆され、応用統計学の普及啓発にも大きな貢献を果たし、2015 年には日経品質管理文献賞も受賞されました。

これらわが国応用統計学に対する三輪氏の業績は、まことに大きなものがあり、応用統計学会名誉会員になっていただく十分な理由があると考え、推薦いたします。

Ⅶ. 会長・副会長・評議員選挙結果報告

投票締切日：2020年3月23日

開票日：2020年3月31日

1. 2020-2021年度の会長・副会長選挙結果

会長	富澤 貞男
副会長	松浦 正明

2. 評議員選挙結果 (27名)

地区代表評議員

北日本・北関東	浅野 (村木) 千恵, 水田 正弘
南関東	岩崎 学, 田畑 耕治
東海近畿	青木 敏, 狩野 裕
西日本	西井 龍映, 森 裕一

それ以外の評議員

安藤 宗司, 鎌倉 稔成, 川崎 茂, 川野 秀一, 栗木 哲,
黒木 学, 瀬尾 隆, 椿 広計, 永田 靖, 中西 寛子,
中野 純司, 二宮 嘉行, 橋口 博樹, 樋口 知之, 星野 伸明,
南 美穂子, 山本 紘司, 山本 渉, 渡辺 美智子

以上

VIII. 新理事の選出 (2020-2021 年度)

役職	氏名	所属
会長	富澤 貞男	東京理科大学
副会長	松浦 正明	帝京大学
庶務(会議・文書・総会)理事	田畑 耕治	東京理科大学
庶務(情報・広報)理事	生亀 清貴	日本大学
庶務(組織管理)理事	小森 理	成蹊大学
会計理事	安藤 宗司	東京理科大学
編集理事	姫野 哲人	滋賀大学
編集理事	南 美穂子	慶応義塾大学
企画理事	前園 宜彦	中央大学
企画理事	山本 紘司	横浜市立大学
無任所	岩崎 学	横浜市立大学
無任所	椿 広計	統計数理研究所
無任所	鈴木 督久	(株) 日経リサーチ
無任所	瀬尾 隆	東京理科大学
無任所	星野 崇宏	慶応義塾大学

以上

IX. 新監事の選出（2020-2021 年度）

監事	中西 寛子	成蹊大学
監事	永田 靖	早稲田大学

以上